

2006年4月1日から2014年3月31日に食道・胃腸科ならびに総合診療科を受診された患者さんへのお知らせ

〈ヘリコバクターピロリ菌感染・胃炎診断における血清ペプノゲン値および内視鏡・生検診断についての後ろ向き観察研究について〉

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2006年4月1日から2014年3月31日に食道・胃腸科ならびに総合診療科を受診され、ヘリコバクターピロリ関連補助診断のための採血に口頭で同意された患者さんを対象に、血清 Hp 抗体値、血清ペプシノゲン値と内視鏡所見、病理所見についての比較検討を後ろ向き観察研究とし実施致します。

本研究の実施期間は倫理委員会承認日から2年間の予定です。

1. 本研究は、治療介入を行わない「観察研究」で既存資料を用いた研究であるため、本研究のために、新たに人体資料は採取しません。
2. 個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
3. 本研究に関する問い合わせ、苦情、試験への不参加、参加取り止めを希望される方は、下記までご一報下さいますようお願いいたします。  
試験への不参加、参加取りやめた場合は、研究代表者に連絡され、情報は削除されます。
4. 利益相反について

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ、大日本住友、杏林製薬、ゼリア新薬工業、味の素製薬、ツムラ、アステラス製薬、武田薬品工業、第一三共、大塚製薬、Japan Gut Club、エーザイ、田辺三菱製薬より奨学寄付金の受け入れ、およびアストラゼネカ、武田薬品工業、第一三共、大塚製薬、エーザイ、ゼリア新薬工業株式会社より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を報告し、適正に管理されています。

なお、上記企業は本研究課題には直接関係ない企業です。

問い合わせ先:内科学(総合臨床医学) 楠 裕明  
電子メール:kusunoki@med.kawasaki-m.ac.jp  
TEL 086-462-1111(内線 44355) FAX 086-462-1199